

丹波市の魅力について

丹波市の魅力について、既存のアンケート調査等より把握する。

1. 意識調査結果より

(1) 丹波市総合計画（平成 27 年 3 月策定）

	実施時期	対象者	回収結果
市民アンケート	H24 年 12 月	市民 4, 992 人	1, 970 件 (39. 5%)
高校生アンケート	H25 年 1 月	市内高校生通学者（2 年生）	420 件
Web アンケート	H25 年 5 月	18～39 歳までの京阪神地域在住	618 件

① 地域の魅力について（高校生対象）

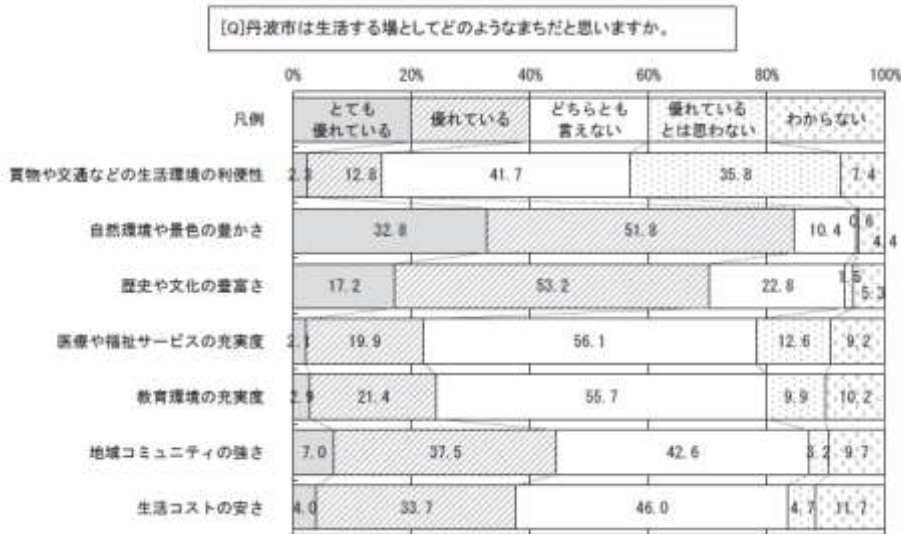
高校生対象の調査結果では、本市の好きなところとして、「住み慣れており、このまちに愛着がある」「自然やまちの風景が美しい」「水や空気、食べ物がおいしい」「人の気持ちがあたたかい」となっており、豊かな自然と、そこで暮らす人々のあたたかな気持ちが魅力となっていると考えられる。



（注）複数回答のため合計は 100%にならない。

② 地域の魅力について（市外の人対象）

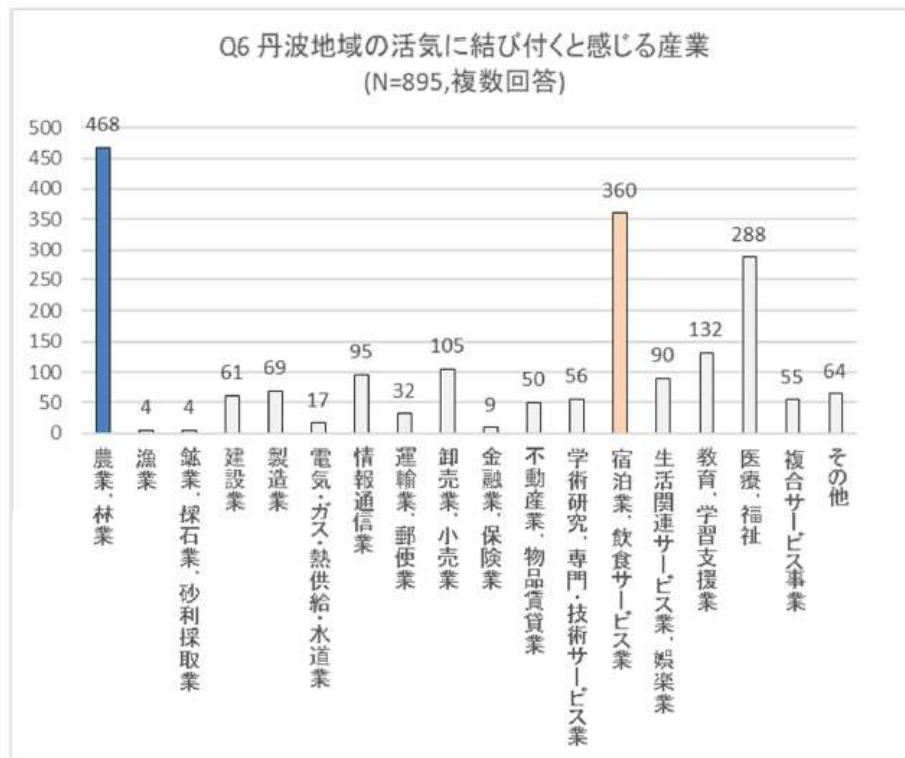
市外の方は生活する対象として、「自然環境や景色の豊かさ」に最も魅力を感じ、次いで「歴史や文化の豊かさ」「地域コミュニティの強さ」「生活コストの安さ」の順となっている。一方、「買い物や交通などの生活環境の利便性」や「医療や福祉サービスの充実度」「教育環境」については不便であると感じている。



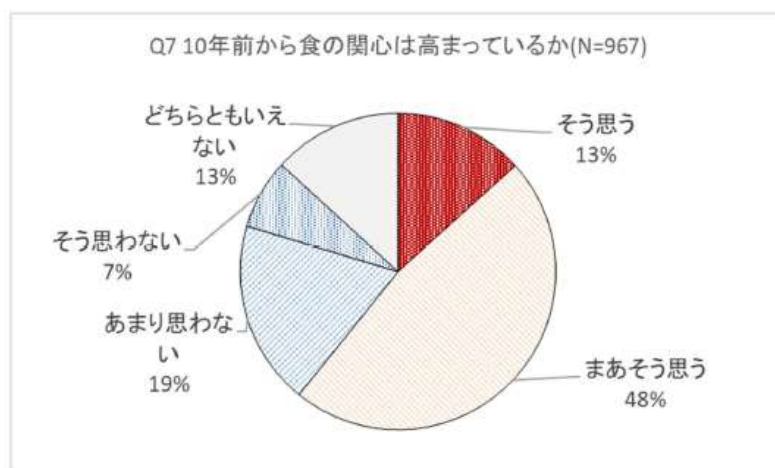
(2) 丹波地域の今とこれからに関するアンケート結果（兵庫県丹波県民局令和3年10月）

	実施時期	調査対象	実施形式	回収結果
丹波地域の今とこれからに関するアンケート	R3年8月24日 ～R3年9月30日	丹波地方にかかわりのある方（丹波篠山市、丹波市外在住者を含む）	Web アンケート	983 名

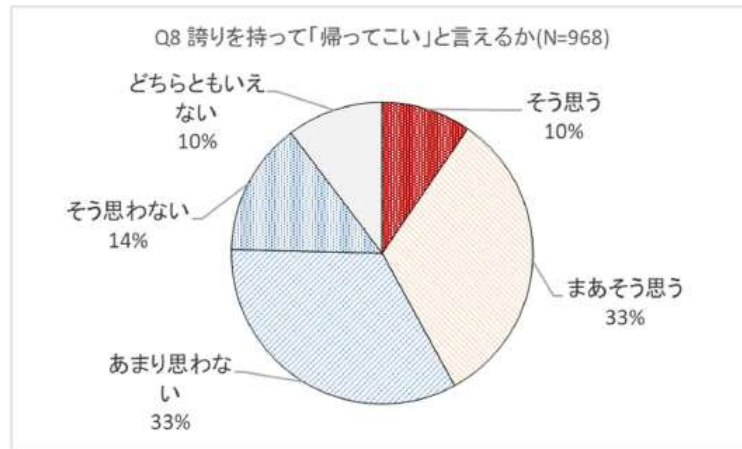
① この10年間で丹波地域の活気に結び付くと感じた産業はありますか



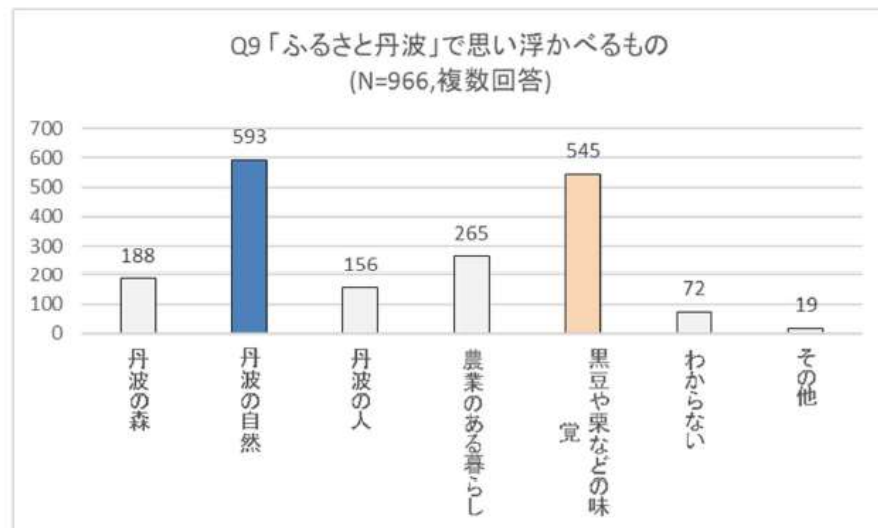
② 丹波地域は10年までに比べて農作物の地産地消や食育が進み、食に対する意識や関心が高くなっていると思いますか。



- ③ 丹波地域は、進学や就職などで一度地域を離れた人に、誇りをもって「住みたい。子育てしたい、帰ってきてほしい」と言える地域だと思いますか。



- ④ 「ふるさと丹波」という言葉で、何を思い浮かべますか。



(3) 丹波地域の集落活性化に関するアンケート調査報告書

(財)兵庫県丹波の森協会 丹波の森研究所平成 21 年 3 月)

・目的

これから直面する集落問題に対し、集落活性化の取組が始まりつつあるが、集落が抱える課題、今後何をなすべきかを探る。

	実施時期	調査対象	実施形式	回収結果
丹波地域の集落活性化に関するアンケート	H19 年 11 ～12 月	丹波市、篠山市の全集落 570 集落に配布	市広報誌に同封し、 郵送で回収	440 集落 (有効回答率 77.2%)

① 集落に戻る条件

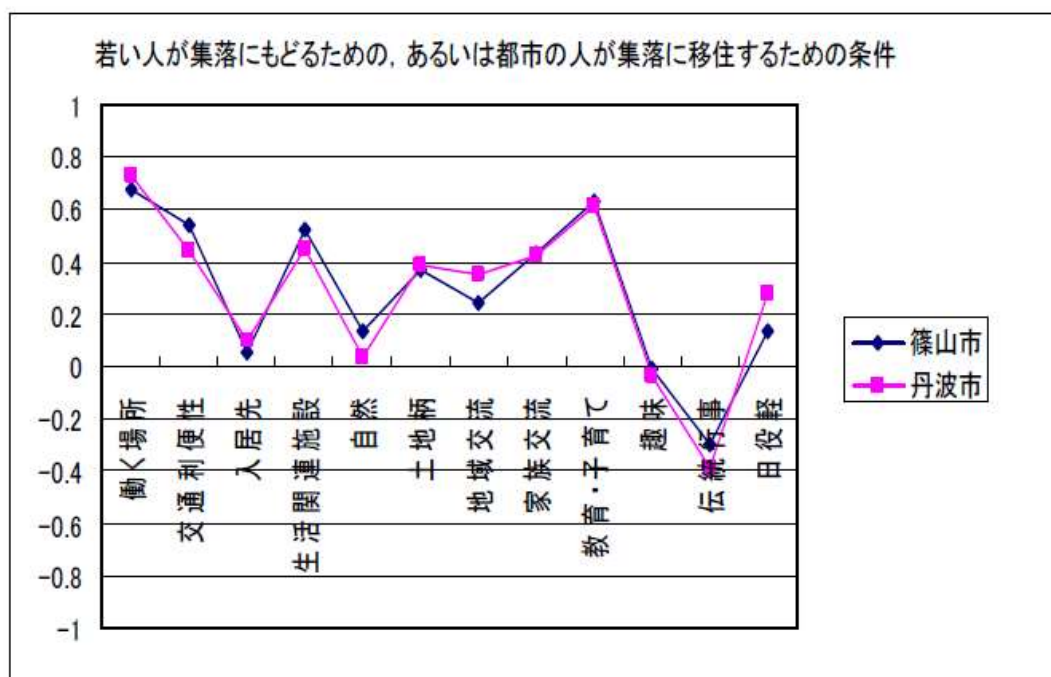
集落に若い人が戻り都市住民が移住してくる条件としては、「働く場所」「教育・子育て」「生活関連施設」「交通の利便性」「家族との交流」「土地柄（雰囲気がい）」などがあげられている。

両市でやや異なるのは「地域の人達との交流」「日役（ひやく＝集落環境を保全するための共同作業）を軽く」で、丹波市側の方でこれらがより必要と考えられている。

また、都市住民が丹波地域について評価している「自然が豊富」は、集落へ戻り移住する条件としてはそれほど重視されていない。

なお、これらは受け入れ集落側の見方であることに留意しておく必要がある。

問 3－2. 血縁関係のある若い方々が集落に戻ってくる条件、あるいは都市住民が集落に移住する条件について、以下の 12 項目それぞれについて、「当てはまる」「やや当てはまる」「当てはまらない」の 3 段階のうち、当てはまる番号に○印をお付けください。



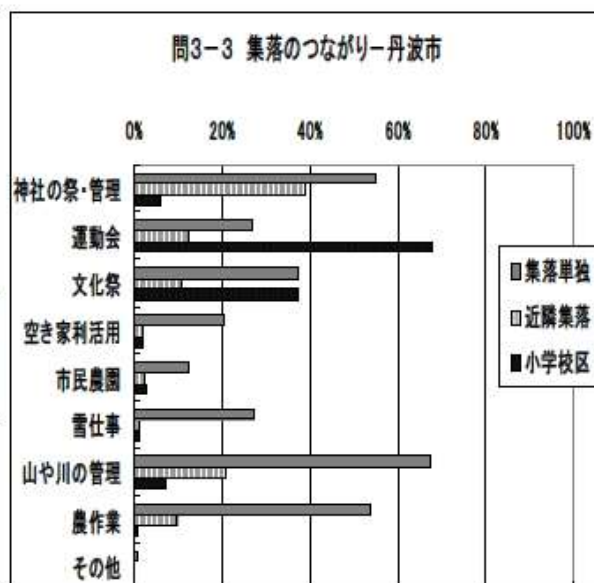
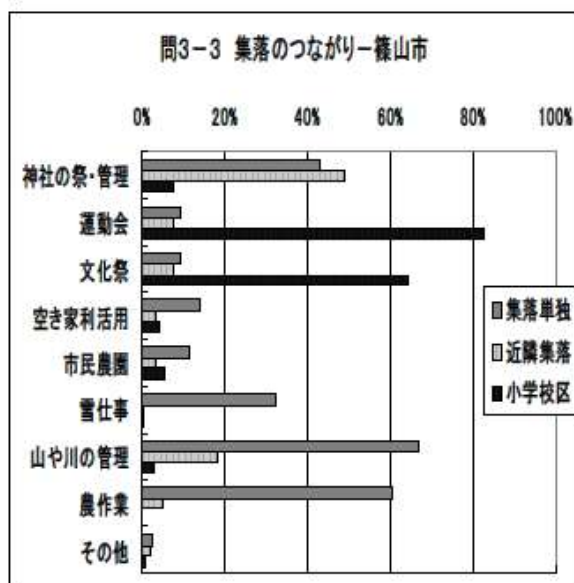
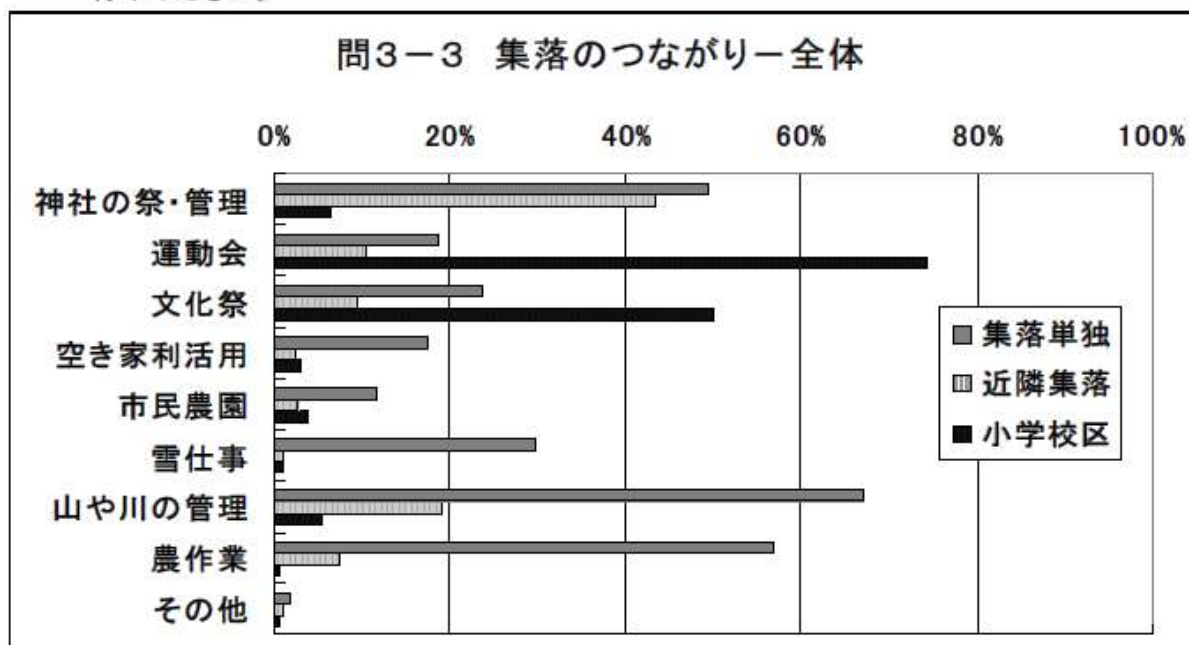
(注) 左の軸の点数が高いほど「当てはまる」という意向が高い。

② 集落間連携

催しなどを通じて集落間のつながりをみると、「神社の祭・管理」は集落単独と近隣集落とが半々。「運動会」は小学校区で行うのが主流だが、「文化祭」は篠山市側では校区で行うがかなり多く、丹波市側では集落単独と校区とが半々となっている。

「山や川の管理」「農作業」「雪仕事(雪かきなど)」は、大半は集落単独で行っている。また、「空き家の利活用」「市民農園」は取り組んでいるケースが少なく、取り組む場合は集落単独である。

問3-3. 集落同士の繋がりについてお伺いいたします。以下の項目について、自治会単独で行っているもの、もしくは他の集落と協力しあって実施している項目に○印をお付けください。



③ 地域資源

“良好な人間関係” “食べ物がよいこと”、そして“自然環境のよさ”が集落の強みとしてあげられている。

問４－１．集落の活性化を今後も推進する上で、貴集落の「強み」と「弱み」について、それぞれ３つお答えください。

「強み」としてあげられたことがら（件数）

	篠山市	丹波市	総計
人間関係がよい	95	113	208
自然環境がよい	43	56	99
食べ物がよい	76	76	152
交通がよい	35	35	70

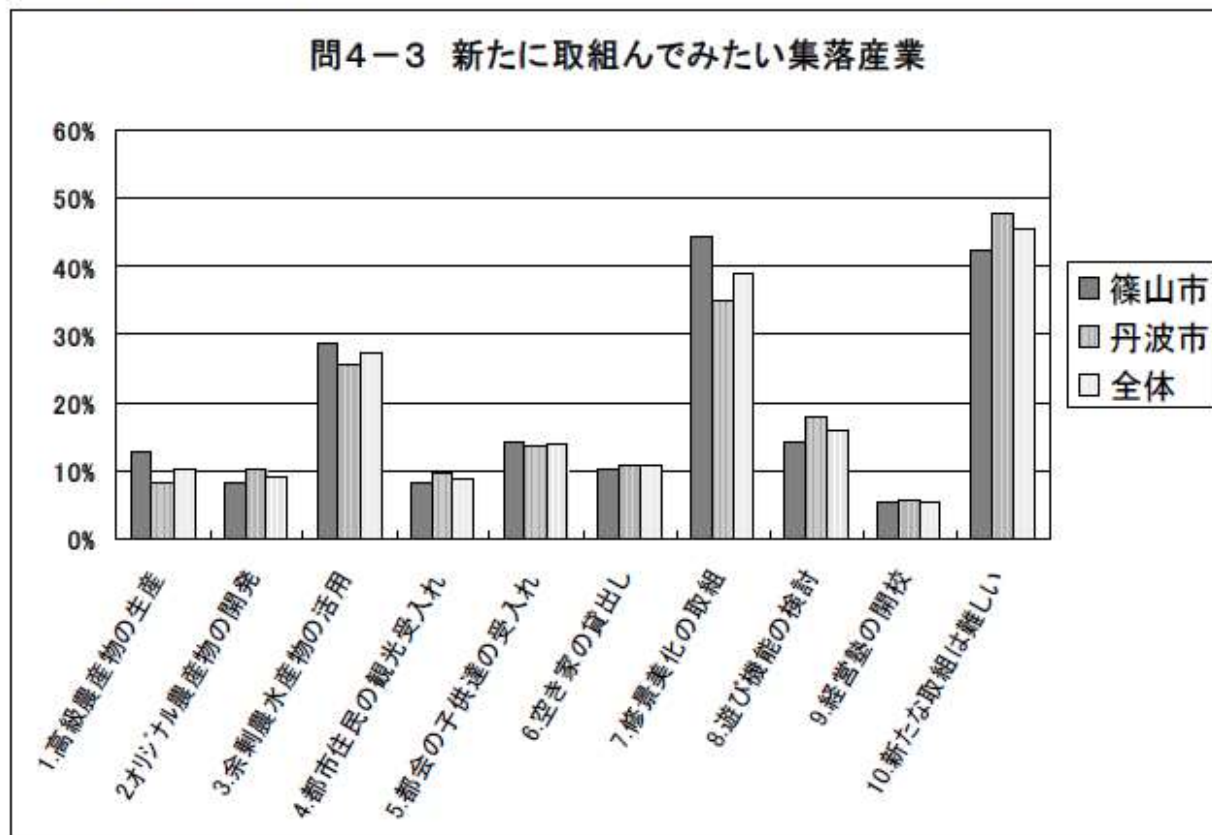
（その他、自給率が高い、自己完結型農業、イベントが多い など）

集落産業については、まず「新たな取組は困難」とする集落が半数近くだった。

一方、取り組もうという集落では、「修景美化」が約４０％と高く、続いて「余剰農水産物の活用」が約３０％で多い。

「修景美化」への意欲は、篠山市側でやや高い。

問４－３．今後、集落産業として新たに取り組んでみたい事業について、以下の中から３つに○印をお付けください。



2. 移住者の声（丹波市移住・定住ポータルサイト）

実際に他地域より丹波市に移住した方の声から、本市の魅力について把握する。

（※文中の NO は、ポータルサイトでの紹介番号）

移住者プロフィール	丹波市の魅力	ポイント
NO. 80 ・経緯：前職は丹波篠山市で農業 高校教諭 ・現在の業種：ミュージアム勤務	・小さなコミュニティがいくつもあり、その中でさまざまな試行錯誤や人の紡いできた文化が形成されている。	・地域のコミュニティが維持されている。 ・地域文化が継承されている
NO. 79 ・経緯：東京→インド ・現在の業種：ヨガインストラクター	・よそ者が来ても見たり参加してくれる方が多い。 ・土地が元気で野菜からのエネルギーが得られる。	・来訪者を受け入れる土壌がある。 ・地域農業が維持されている。
NO. 77 ・経緯：東京→大阪 （設備メーカー営業） ・現在の業種：キャンプ場管理	・店などはないが、逆に自然に目を向けて、いろんな遊びをしたりする。	・自然に主体的に関わることができる。
NO. 77 ・経緯：豊橋市→大阪 （設備メーカー営業） ・現在の業種：パティシエ	・集団生活や型にはまらないタイプの人にも過ごしやすい。	・多様な人の存在価値を認める土壌がある。
NO. 62 ・経緯： ・現在の業種：環境団体事務	・山に入る人が高齢化し、森の循環がうまくいっていない。多くの人に森に携わってほしい、	・健全な森林環境を維持することが重要
NO. 53 ・経緯：大阪市 ・現在の業種：伝統芸能	・知られていなくとも、地元の潜在的な歴史文化がある。	・知られていない伝統文化がある。
NO. 25 ・経緯：Uターン ・現在の業種：広告	・自分でないといけないと思える仕事に参加できることが増えたように思う。	・一人一人の存在価値が認められる。
NO. 22 ・経緯：Uターン ・現在の業種：農業	・面白い人が多くそれぞれがつながっている。	・人の関係性が多様である。
NO. 15 ・経緯：伊丹市 ・現在の業種：農業	・自然教育や自然循環が実際に学べる （ムッレ教室（スウェーデンが発祥の自然学習）の本部が丹波市にある）	・人と自然が深く関わるることができる。
NO. 15 ・経緯：岡山県 ・現在の業種：パラグライダーインストラクター	・オールシーズン飛べて、気流がよい。	・本市の特性を活かした利用資源がある。

3. 本市の魅力についてのまとめ

(1) アンケート調査結果より

- 本市の魅力については、既存アンケート結果では、自然環境や景色の豊かさ、歴史文化の豊かさ、地域コミュニティの強さといった点が挙げられている。
- また今後活性化を推進する上においても、人間関係の良さ、食べ物、といった点が挙げられている。
- 実際に移住された方の意見を踏まえても、人間関係の良さが挙げられており、それには、来訪者を受け入れる土壌があること、また様々な人間関係の中で、多様な個性を認めることが挙げられる。
- 本市には、単に眺めるだけではなく、人と自然が直接かかわりあう関係が築かれていることも挙げられる。
- また本市には、あまり知られてはいないが、本市の特性を踏まえた文化や歴史が生活の中で息づいていることも挙げられる。